



市民の皆様ポカシについてご存じですか!!

問合せ (公社)太宰府市シルバー人材センター
太宰府市都府楼南四丁目21番17号
TEL092-921-4222(代表)

ステップ1 [準備]

まず、次のものを用意してください

- ・ポカシ
- ・生ゴミ (紙、ビニール等はいれなくてください)
- ・密閉容器 (容量10L程度)1個 (2個あると便利です)
- ・ビニール 2袋程度



ステップ2 [ポカシ肥料を作る]



①密閉容器に生ごみを入れます。



②ポカシを全体にかけます (生ごみ1kgに対してほかし約10~20g)



③ビニールに水を入れた物で押さえてしっかりとフタをします。



④直射日光が当たらないところに容器を置きます。(冬は日光が当たっても良い)



(1)左記①~④の作業を容器がいっぱいになるまでくり返します。

(2)容器がいっぱいになったら、夏場は1週間程度、冬場は2週間程度フタをしたまま置いておきます。(生ゴミは変化しませんが、容器の中でポカシに含まれている菌が増殖します)

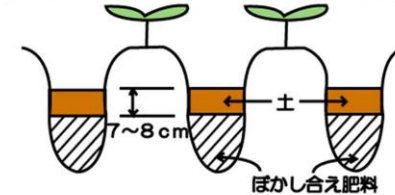
(3)フタがふくれてきたらガス抜きをします。

(4)ヌカ漬けのような臭いがしてきたらできあがりです。

ステップ3 [ポカシあえ肥料を使う]

① 畑

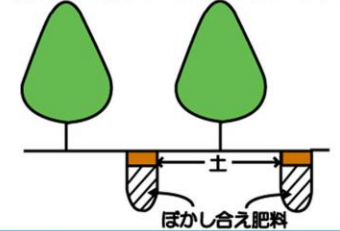
ウネとウネの間にほかしあえ肥料を入れて、その上に7~8cmの土を盛ってください。



注意: ほかしあえ肥料の液肥を、直接作物にかけないようにして下さい。

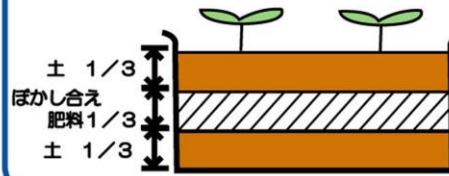
② 庭

庭木の場合は、所々に穴を掘って埋めてください。酸性が強いため根元には入れないで下さい。



③ プランター

土を1/3ほど入れ、上にほかしあえ肥料を入れる。その上に土をかぶせて、1ヶ月以上たってから種、苗を植えてください。



④ 液肥

1,000倍程度に薄めた液肥を野菜や花等に1~2週間に1度の割合で、施します。



液肥として利用できます

※液肥とは…ポカシあえ肥料を作る際に容器の底にたまる液のことです。この中にはEM菌が多数繁殖しており、液体の肥料となるので液肥と呼ばれていますが、強い酸性で濃い栄養分を含んでいます。そのため、水で薄めずにそのまま使用すると、効力が強いのでかえって作物の根や葉を傷めてしまいます。

作物も人間の体と一緒に、強力な薬や栄養剤は胃を荒らしてしまうように、かえって作物を枯らしてしまいます。農家ではこれを「しびれる」とか「根あたり」とかいいいますが、じわじわと効果を発揮させるためには300~500倍ほどに水で薄める方法が効果的です。

このほか液肥はEMの浄化力により、家庭の排水パイプの詰まりや悪臭除去、水質汚染防止に効果を発揮します。この場合は液肥の原液を流してもいいのですが、少ない量では長いパイプのすみずみへ行きわたらせません。もったいないので、100~500倍に薄めます。

別にポカシを水に溶かし1日置いた液を、利用する方法もあります

ポカシ取扱のポイント

1. 湿気を持たせない
2. 直射日光に当てない
3. 長期保存する場合は紙袋等に入れ替える(夏場)



- ・生ゴミは十分に水切りしてください。
- ・その日に出たゴミは、その日のうちに処理してください。
- ・肉、魚など動物性タンパク質または水気が多いものは腐敗しやすいのでポカシを多めにまぶしてください。

キュウリ・ナスビ・トマト等連作できます

